積丹町　第３期保健事業実施計画（データヘルス計画）　【概要版】

１　基本的な考え方

データヘルス計画とは、積丹町国保加入者の「健康寿命の延伸」と「医療費の適正化」を図るため、健康診査の結果や医療費・介護給付費などのデータ分析を行い、健康の保持増進に効果的かつ効率的な保健事業を実施するための計画です。

２　積丹町の現状（出典：KDB（国保データベース）システム、特定健診法定報告データ、地域保健・健康増進事業報告）

同規模・北海道・国と比較した積丹町の特性（R4年度）

	高齢化率（%）	出生率（人口千対）	死亡率（人口千対）	産業（%） 第１次	第２次	第３次
積丹町	46.9	2.2	21.3	30.0	14.0	56.0
同規模	41.4	4.9	18.9	22.3	20.6	57.2
北海道	32.2	5.7	12.6	7.4	17.9	74.7
国	28.7	6.8	11.1	4.0	25.0	71.0

・積丹町は、同規模、北海道、国と比較すると出生率が低く高齢者の割合が高い町です。
・産業においては、第１次産業の割合が高くなっています。

特定健診・がん検診受診率の推移

		H30	R1	R2	R3	R4
特定健診（目標60%以上）		33.9%	37.3%	34.2%	37.2%	34.9%
がん	胃がん	14.8%	12.4%	12.1%	10.5%	15.5%
	肺がん	26.4%	25.1%	17.6%	28.4%	25.7%
	大腸がん	22.2%	22.7%	14.6%	18.9%	18.8%
	子宮がん	8.4%	9.0%	5.4%	11.6%	15.7%
	乳がん	12.5%	12.6%	8.8%	19.1%	26.7%

・特定健診受診率は、第３期特定健診等実施計画の目標まで達成できていません。
・検診で早期発見が可能ながん検診の受診率も低く推移しています。

医療費の推移（H30年度→R4年度）

積丹町			H30年度	R４年度
国保加入者数			743人	602人
総医療費			2億7,702万円	2億7,079万円
１人あたり医療費			372,840円	449,817円 ⇑
	入院	１件あたり費用額	502,450円	584,030円 ⇑
		費用の割合	47.7%	55.6% ⇑
		件数の割合	3.8%	4.9% ⇑
	外来	１件あたり費用額	22,050円	23,940円
		費用の割合	52.3%	44.4%
		件数の割合	96.2%	95.1%

介護給付費の変化（H30年度→R4年度）

積丹町	H30年度	R４年度
２号認定者	4人	3人
１号認定者	225人	212人
総給付費	3億2,376万円	3億6,100万円 ⇑
１人あたり給付費	349,636円	420,256円 ⇑
１件あたり給付費	93,250円	106,145円 ⇑
居宅サービス	37,842円	40,456円 ⇑
施設サービス	290,634円	299,332円 ⇑

・医療費、介護給付費ともに１人あたりの費用が増加しています。また入院医療費は、全体のわずか５%程度の件数にもかかわらず、医療費全体の半分以上を占めています。入院を抑制し重症化を防ぐには、予防可能な生活習慣病の管理が必要です。

短期目標疾患の治療状況（R4年度）

疾患		実数	割合
短期目標疾患	高血圧	233	49.9%
	糖尿病	127	27.2%
	脂質異常症	188	40.3%

※ 国保加入者の半数が高血圧、３割が糖尿病、４割が脂質異常症で治療をしています。

中長期目標疾患が医療費に占める割合（R4年度）

疾患			積丹町	国
中長期目標疾患	脳	脳梗塞・脳出血	4.93%	2.03%
	心	狭心症・心筋梗塞	1.56%	1.45%
	腎	慢性腎不全（透析有）	0.00%	4.26%
		慢性腎不全（透析無）	0.03%	0.29%
その他の疾患	悪性新生物（がん）		21.13%	16.69%
	精神疾患		11.34%	7.63%

死亡の状況（R4年度）

死因	割合	SMR（H25～R4）
脳疾患	17.9%	120.1
心臓病	21.4%	虚血性心疾患 73.3
		心疾患 147.0**
腎不全	0.0%	117.8
がん	53.6%	116.9
自殺	3.6%	376.8**

※ SMR：国の平均を 100 とした場合の町の死亡率

・中長期目標疾患である脳血管疾患は、国と比較し高くなっています。
・積丹町は人口規模が小さいため、数名の疾患発症で割合の増減が大きく表れます。保健介入により１名でも重症化を防ぐことができれば、医療費抑制への成果は大きいと考えられます。

３　健康課題と課題を解決するための保健事業

健康課題１　・健診（検診）受診率が低い　・健診で健康管理をする人が少ない

特定健診	・特定健診受診率が34.9%（目標60%）と低く、健康状態不明者が多い状態です。 ・これまで継続受診していた方が徐々に後期高齢者保険に移行することで、受診率の低迷が予測されます。
がん検診	・検診で早期発見が可能ながん検診（胃・肺・大腸・子宮・乳）の受診率も低く推移しています。
産業	・第１次産業、特に漁業者（就業日や就業時間が天候に左右される）の割合が多く、健診の予定を立てづらいことが考えられます。

対　　策

ポピュレーションアプローチ	健康増進事業	健診事業
・一人ひとりの町民が自分の住む町の実情を知り、納得のもと健診を受け、健診結果から生活習慣の改善に取り組めるよう支援します。 ・「減塩の日」「世界糖尿病デー」などのIP周知 ・健康へのWANポイント発行	・健康づくりへの習慣と関心を高め、健康的な生活習慣の定着を目指します。 ・Wan歩イント事業 ・玄米チャレンジ ・はつらつウォーキング歩健事業	・生活習慣病の予防ができる「特定健診」早期発見が可能な「５大がん検診」の受診率向上を目指します。 ・ワンコイン健診 受診しやすい自己負担額の設定 ・基本健診(特定健診)とがん検診の同時受診が可能な体制の整備 ・40歳未満の健診実施　・漁業者健診 ・未受診者対策事業 ・データ受領、みなし健診 （医療のデータを健診として活用）

健康課題２　・１人あたり医療費が増加している

高齢化率	・積丹町は、令和４年度時点で高齢化率が46.9%（北海道：32.2%、国：28.7%）と高くなっています。
地理的条件	・医療機関までのアクセス不良、遠方や雪の状況により通院治療が困難で、入院治療となっている可能性が考えられます。
重症化	・軽症時点での通院を行わず、疾病が重症化してから医療機関を受診している可能性が考えられます。

対　　策

保健・栄養指導	重症化予防
・治療に至る前段階の検査値の変化に対し、生活習慣と併せて体の仕組みを伝えられる保健・栄養指導を個別に実施します。	・体質、生活習慣、インスリン分泌など個人に合わせた保健・栄養指導を実施します。 ・適切な時期での医療機関受診勧奨を実施します。 ・治療中の方についても医療機関と連携し支援します。
高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	